

CMC GROUP

2019年9月期
第2四半期連結決算説明会

-
- | | |
|----------------|--------------------------------------|
| 1. 業績報告 | セグメント概況/連結損益計算書/
連結貸借対照表/業績見通し など |
|----------------|--------------------------------------|
-
- | | |
|----------------|-----------------|
| 2. 資本政策 | 配当方針の変更/配当予想の修正 |
|----------------|-----------------|
-
- | | |
|----------------|-------------------------------------|
| 3. 成長戦略 | 中期経営計画/トピック
ビジネスモデル/コンセプトムービー など |
|----------------|-------------------------------------|
-

1. 業績報告

**2019年9月期
第2四半期 業績**

売上高・営業利益は過去最高を更新

売上高：	98億円	前年同期比 10.4%増
営業利益：	12億円	前年同期比 16.4%増

**マーケティング
事業**

技術マニュアル制作案件の好調に加え、M & Aの効果が寄与

売上高：	86億円	前年同期比 9.8%増
営業利益：	11億円	前年同期比 7.1%増

**システム開発
事業(※)**

官公庁向けシステム/物流関連システム開発案件の売上高が増加

売上高：	11億円	前年同期比 15.4%増
営業利益：	1億円	前年同期比 81.5%増

※システム開発事業の売上高及び営業利益は「株式会社CMC Solutions」のみの実績となります。

営業利益の増加は I C T 活用によるもの

- ・売上高：技術マニュアル制作案件/システム開発案件の好調に加え、M & A の効果が寄与
- ・売上原価：I C T 活用の高度化による原価低減

単位:百万円

	2019年9月期 第2四半期 実績	2018年9月期 第2四半期 実績	前年同期比
売上高	9,839	8,913	+10.4%
売上総利益	3,584	3,061	+17.1%
販売管理費	2,319	1,975	+17.4%
営業利益	1,265	1,086	+16.4%
(営業利益率)	(12.9%)	(12.2%)	(+0.7point)
経常利益	1,292	1,081	+19.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	669	669	▲0.0%

株式会社シミュラティオの研究開発内容をA I「LAND」に一本化
 収益計画の変更により、特別損失として133百万円を計上

単位:百万円

	2019年9月期 第2四半期 実績	2018年9月期 第2四半期 実績	前年同期比
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (計上前)	803	669	+20.0%
特別損失	▲133	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (計上後)	669	669	▲0.0%

6

特別損失計上前の四半期純利益は第2四半期として過去最高

単位:百万円

	2019年3月末	2018年9月末	差額
流動資産	12,584	11,603	+980
内)現金及び預金	7,818	7,762	+55
固定資産	5,679	5,807	▲127
総資産	18,263	17,410	+853
流動負債	3,247	2,778	+469
固定負債	1,503	1,537	▲33
株主資本	13,175	12,760	+414
純資産	13,512	13,094	+417

通期予想の変更はありません

単位:百万円

	2019年9月期 第2四半期 実績	2019年9月期 通期 予想	進捗率
売上高	9,839	19,996	49%
営業利益	1,265	2,000	63%
経常利益	1,292	2,046	63%
親会社株主に帰属する 当期純利益	669	1,343	50%

8

業績見通しを据え置いた理由

受注については十分に確保しているものの、
お客さま企業の状況により、案件の期ズレが発生する可能性があるため

2. 資本政策

2. 資本政策 配当方針の変更と期末配当予想の修正（増配）

CMC GROUP

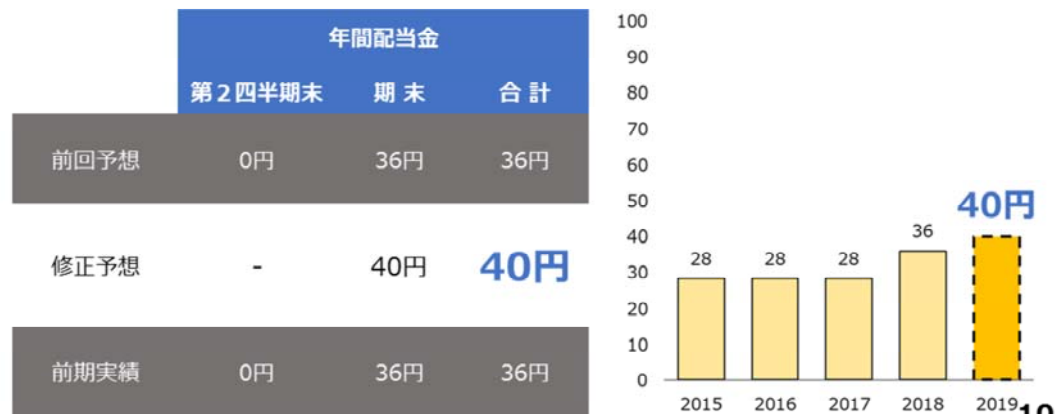
▶変更前

将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していく

▶変更後

業績動向・財務体質、将来のための投資に必要な内部留保等を総合的に勘案し、

配当金額の継続的な増額をめざしていく



配当方針

「安定した配当の継続」から「配当金額の継続的な増額をめざす」という方針に変更

期末配当予想の修正

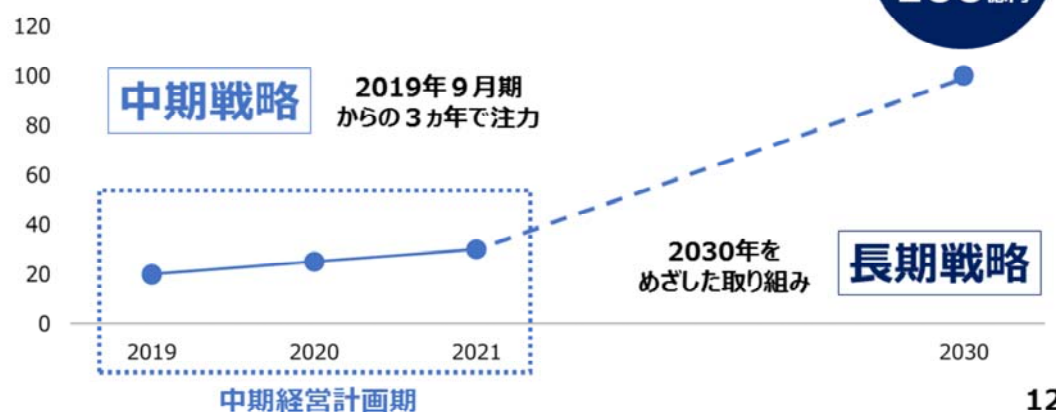
期末配当予想を1株当たり36円から4円増額し、40円に修正

3.成長戦略

I C T の徹底的な活用によるビジネス変革と拡大

労働集約型ビジネスから、「**知識集約型ビジネス**」への変革

■ 営業利益の推移 単位:億円



12

当社グループは、2018年11月の説明会で中期経営計画について説明
中期経営計画の実現を通じて「**知識集約型ビジネス**」への変革をめざす

※以降のスライドでは、中期経営計画の関連トピックスと進捗状況について説明

3.成長戦略 第2四半期のトピックス

CMC GROUP

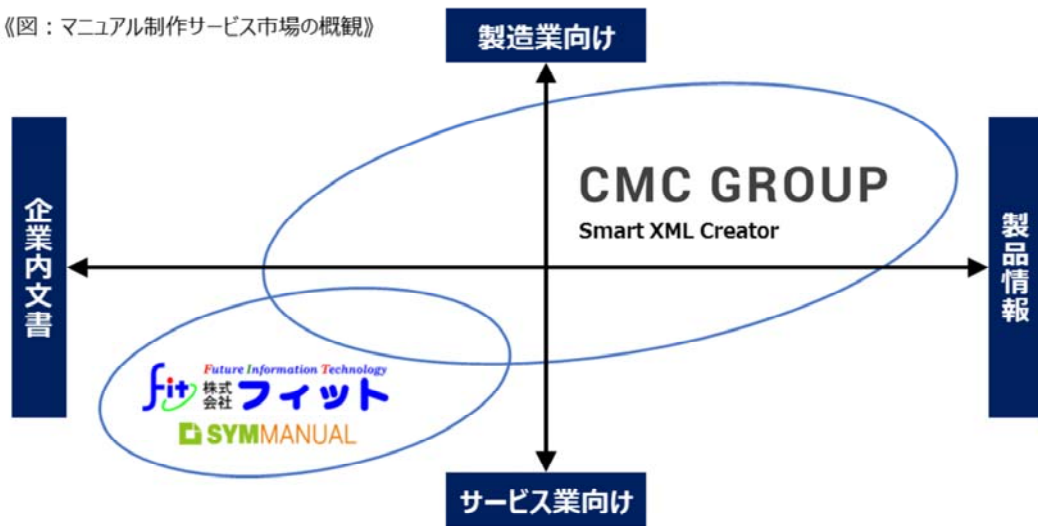
中期経営計画の実現に向け 戦略を着実に具現化		中期戦略				長期戦略		
		プラットフォーム型 ビジネスへの参入	上流情報の コーディネート	モビリティ市場 への対応	注力市場への拡販	新技術の活用	M&A・業務提携・ 産学連携	グローバル市場 への拡大
海外	モビリティ関連ECビジネスを担う 現地法人を中国に新設	●		●				●
	ASEAN地域の物流サービス拡大にあわせ 物流システム開発拠点をタイに新設				●			●
国内	マニュアル作成支援ASPサービス(※)の フィットと資本業務提携	●				●	●	
	AIを活用した 「情報資産化ソリューション」の提供を開始	●	●			●		

※ASPサービス：ネットワーク経由によってソフトウェアやソフトウェア稼働環境を提供する事業の総称

中期経営計画にもとづき、戦略を着実に推進
中期戦略、長期戦略ともにバランスよく具現化

「マニュアル市場におけるシェア拡大」→「業務標準化ビジネスの拡販」

《図：マニュアル制作サービス市場の概観》



14

フィットとの提携の狙いは「マニュアル市場におけるシェア獲得」を通じた「業務標準化ビジネスの拡大」

① マニュアル市場におけるシェア獲得

「マニュアル制作サービス市場」において、当社グループとフィットは異なる領域で事業を展開
フィットの当社グループへの参画により、「マニュアル市場におけるシェア獲得」をめざす

当社グループ

- ・自動車メーカーを中心とした**製造業向け**
- ・主に「製品の取扱説明書」や「修理書」などの「製品情報」をもとにしたマニュアルを制作

フィット

- ・ホテル、飲食店などの**サービス業向け**
- ・主に「規程集」や「業務マニュアル」などの「企業内文書」をもとにしたマニュアルを制作

② 業務標準化ビジネスの拡大

当社グループはお客さま企業の「企業内文書」「製品情報」を活用した「業務標準化ビジネス」に従事している

「業務標準化」

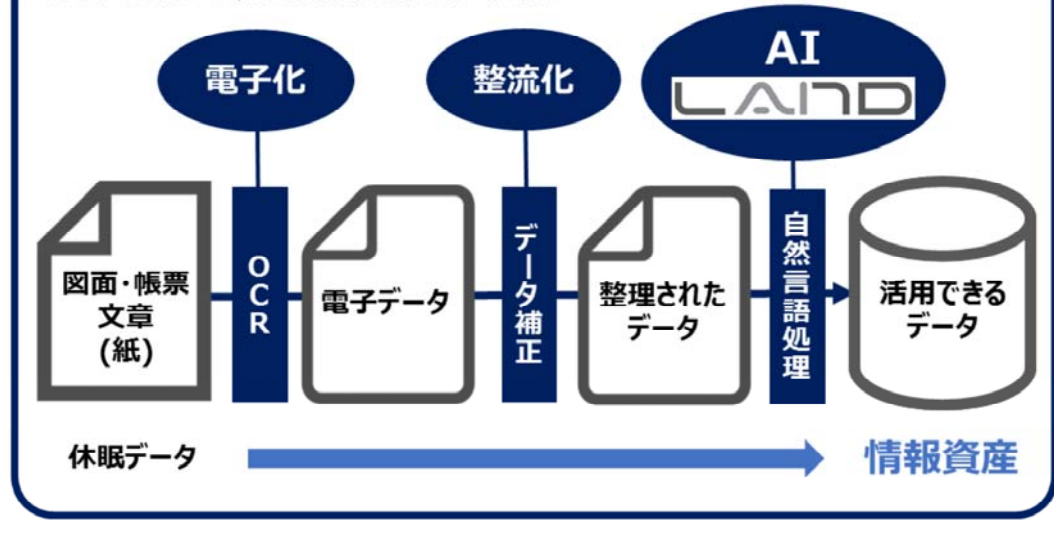
業務効率/業務品質/安全性の向上や技能伝承などを目的に、**最適な業務手順を決定・定着**させること
「働き方改革」や「人材不足」が社会課題となるなかで非常に注目されているワード

提携により当社グループが扱う情報は「質/量/種類」ともに拡大する

今まで以上に**精度の高い「業務標準化ビジネス」**を展開できる環境をいかして、**拡販**をめざす

お客さま企業内の「休眠データ」を「情報資産」に変える

モビリティ業界における「情報資産化ソリューション」



当社グループではAIを活用した「情報資産化ソリューション」の提供を開始

例：モビリティ業界

お客さま企業内に眠っている過去の技術資料に対してAIを活用し、
電子的に情報検索できる仕組みづくりに取り組む

「OCR（光学的文字認識）」

紙に書かれているテキストをデータ化

「整流化」

データ活用に向けた情報整理、関連情報などの追加

→ AIなどの各種システムで効率的に処理しやすくなる

AI「LAND」

自然言語処理に特化したAI

「自然言語処理」とは人間が日常的に使っている言葉をコンピュータで処理する一連の技術のこと

「LAND」にデータを読みこませることで、日常的に使用する言葉でデータを検索できるようになる

例：検索時に使用する言葉

「●年●月の修理情報見せて」

「●●に関する設計情報を表示して」

「整流化」やAI「LAND」の活用により、お客さま業務を効率化する仕組みづくりを提供
＝「情報資産化ソリューション」



当社グループはお客さま企業が保有する、製品、企業内文書、ノウハウ、スキルなどの情報(各種データ)を「ナレッジ化」するためのサービスの提供をめざしている

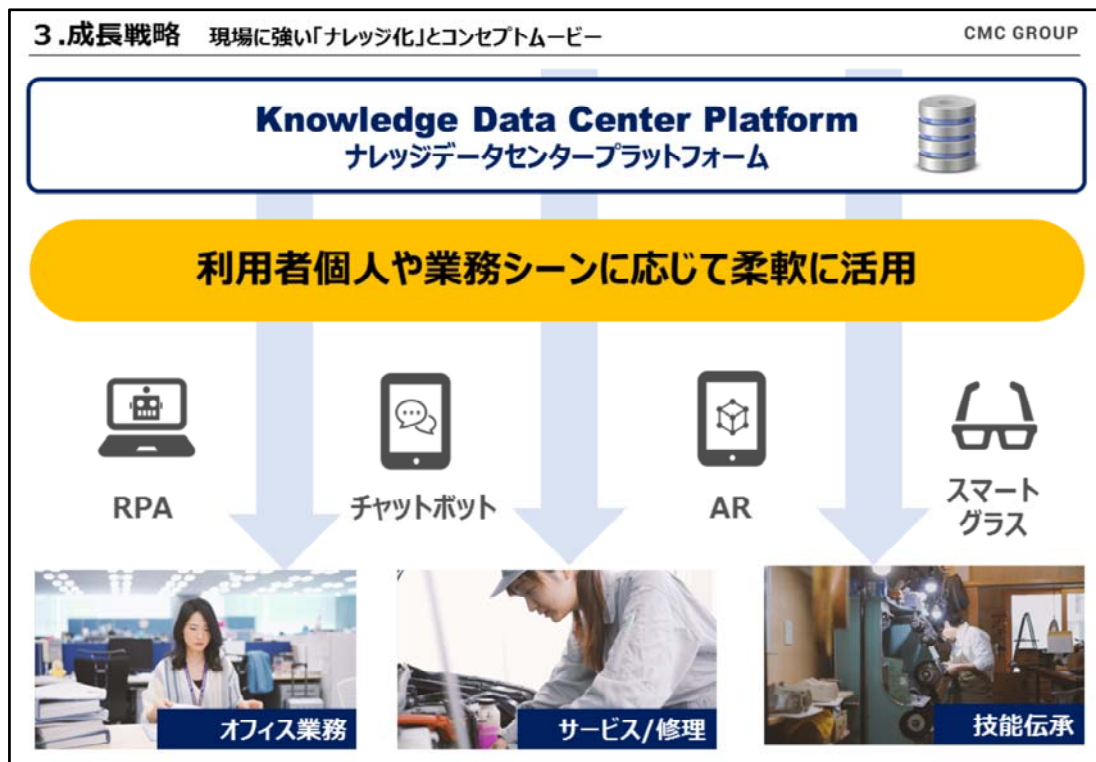
お客さま企業内にある活用されていない情報(各種データ)を**見える化**

例：情報(各種データ)の具体例
 紙の帳票
 ファイル（ワード、エクセルなど）
 業務上の知恵（カンコツ）
 匠の技術 など

各種データを活用できるように整理
 =「**整流化**」

整流化されたデータを蓄積
 =「**ナレッジデータセンタープラットフォーム**」

データを利用者個人や業務シーンに応じて柔軟に活用
 =「**ナレッジ化**」



「ナレッジ」は I C T 技術を用いて使い手に届けられる

例：業務シーンに応じた I C T 活用

オフィス業務（R P A、チャットボット）・・・ 伝票処理の自動化、規程集の音声検索 など

サービス/修理（A R）・・・ 修理手順の表現方法の高度化 など

技能伝承（スマートグラス）・・・ 「技術者の視覚情報(目線)」を活用した教育 など

「ナレッジ化」でめざすもの



「作り手視点」から「**使い手視点**」へ

18

「ナレッジ化」の意義

→情報のあり方を「作り手視点」から「使い手視点」へ変えていく

※「マニュアル化」から「ナレッジ化」への進化

当社グループは、お客さま企業の現場改善に取り組んできた企業グループ
現場を理解したデータ活用の推進により成長をめざす

CMC GROUP

[illegible]

フィットが資本業務提携により当社グループへ参画したことにより、
ICT戦略における「ドキュメント領域/業務標準化のICT化」がいっそう進む

CMC GROUP

2019年9月期 第3四半期累計期間
決算発表は8月7日(水)を予定しております

参考資料

連結損益計算書	単位	16年9月期 通期	17年9月期 通期	18年9月期 通期	19年9月期 通期予想
売上高	百万円	16,499	16,889	18,114	19,996
売上総利益	百万円	5,296	5,421	6,204	-
営業利益	百万円	1,371	1,372	2,001	2,000
経常利益	百万円	1,328	1,534	2,076	2,046
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	771	938	1,322	1,343
売上総利益率	%	32.1	32.1	34.2	-
営業利益率	%	8.3	8.1	11.0	10.0
経常利益率	%	8.1	9.1	11.5	10.2
当期純利益率(※)	%	4.7	5.6	7.3	6.7

※ 当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標(※1)	単位	16年9月期 通期	17年9月期 通期	18年9月期 通期	19年9月期 通期予想(※2)
BPS(1株当たり純資産額)	円	1,576.3	1,717.3	1,868.3	1,926.0
EPS(1株当たり当期純利益)	円	108.4	132.4	188.7	192.8
ROE	%	6.9	8.0	10.5	10.2
ROA	%	8.8	9.7	12.2	11.5
PER	倍	8.6	10.2	13.3	11.2
配当性向	%	26.1	21.4	19.1	20.7
従業員数	名	888	931	969	990

※1 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2016年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※2 2019年9月期予想の数値については、損益計算書及び配当は19年9月通期予想、それ以外は19年3月末実績に基づいて算出しております。

▶社名	株式会社 シイエム・シイ
▶事業	マーケティング活動支援／I C T戦略支援
▶設立	1962年5月
▶住所	名古屋市中区平和1-1-19
▶代表者	代表取締役社長 佐々 幸恭
▶資本金	6億5,761万円
▶従業員数	990名
▶グループ会社・拠点	17社(国内7社、海外10社)、29拠点(国内14拠点、海外15拠点)

※2019年3月31日現在

North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

Europe

ポーランド



Maruboshi Central & Eastern
Europe Sp. zo.o.

オランダ



Maruboshi Europe B.V.

フランス



Maruboshi France S.A.R.L.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司
広州市丸量資訊科技有限公司
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



台湾丸量資訊科技股份有限公司

タイ



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.
Maruboshi (Thailand) Co., Ltd.

シンガポール



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.

海外

8ヶ国 15拠点

この資料は、株式会社シイェム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社シイェム・シイ 経営企画部 IR担当 052-322-3386

IRサイト <http://www.cmc.co.jp/ir/>